

# 「みんなのまち 53丁目」ができるまで

年長 すみれ・すずらん

9/21

午後の自由遊びで A と Y が廃材を使って製作をしたいと申し出た。近くにあって廃材の他に、大きな段ボール板を数枚用意すると、すみれぐみすずらんぐみが合同で、何をしようか話し合いが自然と始まった。「基地」「迷路」と色々な案が出たが、最終的に「オバケの迷路」に決定。作るモノが決まると、すぐに部屋のあちこちで作業が始まった。A・T はオニの絵を描き、H は段ボールが倒れない様、支え続けていた。A・K は完成してからのことを考え、周りにいる友だちと「ルール」を考え、皆が見やすい様に大きな文字で紙にルールを書いていった。傍らで M は 双眼鏡、S は紙鉄砲を作っていた。一つの素材から無限に住まれる発想。子どもたちは生き生きしていた。



「双眼鏡」



「紙鉄砲」

よく見えるよ

ほら、見て!!  
よく飛ぶでしょ

10/10

派生して...

以前、保育者が作った「心かりカフェ」という看板を見た M・D が「カフェ屋さんを作る!」と言い出した。そこにいた C も「やりたい! やりたい!」と2人が主体となりカフェ屋が始まった。「まずは看板作りをしないとな〜」と C。「私はごはんを作るね!」と M・D。C は小さい段ボールを持ってきて、そこに「いらっしゃいませ」の字を書き始めると、周りの子どもたちも大盛り上がり。M・D と一緒にごはん作りをしていた W がプリンを作ると「スゴイ! 美味しそうだね〜!」と会話も弾んだ。様々なる子どもが集まり、いつもは主とばかりにいた子どもたちが中心となり、カフェ作りが進んでいったので、とても面白いなと感じた遊びであった。



長く続いた「オバケの迷路」を片付けたいと、子どもたちに伝えた。「なんで?」という声が多数あがった。そこで、11月末にある参観日で、年少・年中時に体験した「お店屋さん」を行うか、あらゆるものがある「まちづくり」を行うか...どちらをやりたいか問いかけると大多数で「まちづくり」に決まった。次の目的(まちづくり)を持った子どもたちに迷路の片付けを頼むと、全員が協力的に動いてくれた。保育者と一緒に、段ボールを小さく折り畳み、まとめてくれる子。床に落ちているゴミを見て、ほうきで掃きそらじをする子。自分たちで、今何をすべきか考え実行してくれたお陰で、部屋はあっという間に片付いた。



と、いう訳で「まち」にはどんなものがあるのか見学!!



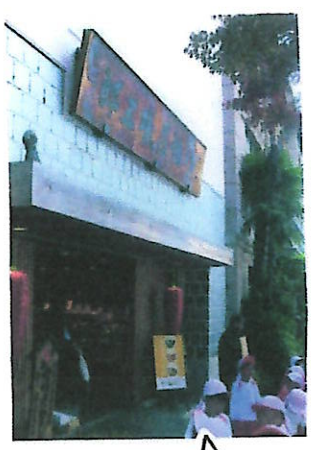
100円屋さん発見!!



横断歩道、信号 発見!!



銀行か 沢山あるなあ。



ワア!!  
大きな とうがらし!!  
看板のかわりかな?



ぼくの住んでいるまち、結構良いまちだね。

まちには、歩く人が休めるイスが 沢山あるね。

木や花が 沢山あってキレイだね。

「まちづくり」を行うにあたり、皆での話し合いを繰り返した

- 話し合い ① 「まち」にはどんなモノがあったか出し合う。
  - 57ヶの意見が出た。
- 話し合い ② 自分たちが作る「まち」に「あったら良いな」と思うモノを出し合う。
  - 沢山の意見の中から 8ヶの会社・店 と、その他のモノが 決まる。
  - ・スーパー ・花屋 ・レストラン ・郵便局
  - ・建設会社 ・タクシー会社 ・銀行 ・レジャー施設
  - ・電柱 ・横断歩道 ・木 ・花 ・キレイな空

- 話し合い ③ 「まち」の名前を決める。
  - 子どもたちの中に、運動会での組体操を「53人が力を合わせて頑張った!!」「みんなでやり遂げた!!」という思いが強かったように、候補にあがった名前やその理由に「53」という数字や「みんな」という言葉が多く入っていた・・・ということ。

「みんなのまち 53丁目」に決定!!

- 話し合い ④ どんな仕事をしたいのか・・・希望の会社・店にそれぞれ配属。

設計図を基に、会社・店(グループ)ごと看板の作成

みんなに見てもらえる看板にしよう!!

みんなのまち 53丁目

<おみやげ・カワイイの店>  
たけのこ屋

<はたらくおじいさんの店>  
たけのこ屋

<かんぱんの店>  
たけのこ屋

どんな看板にする?

みんなのまちづくり ①-2

あなたたちの町にはどんな店を建てますか?  
みんなではなしてあげてね!

町の名前

みんなのまち

みんなのまち 53丁目

みんなのまち 53丁目

会社・店には、どんなモノがあるのか、どんな仕事をするのか、どの場所で仕事をするのか、どんな建物にしたいのか話し合い、資料作成。  
自分たちの資料を基に「みんなのまち 53丁目」作りスタート!!

温泉を作るんだ!

キレイな花を沢山作ろう!!

タクシーの色は、何色にしようかな。

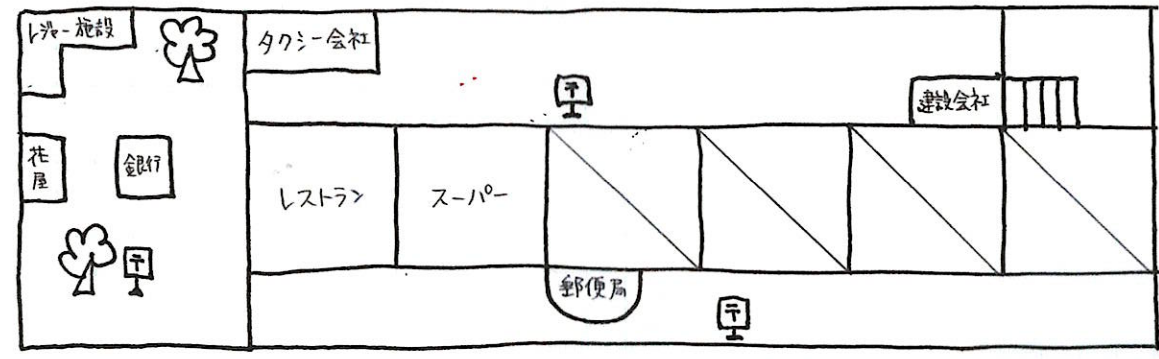
海上レストランなんだよ。

会社の中には神棚があるんだよ。

緑丘公園で拾った木の棒を切って「木のお金」にするんだよ。

2階建てで、屋根に噴水があるんだよ。

7日間の準備期間を経て、11/26「みんなのまち 53丁目」スタート



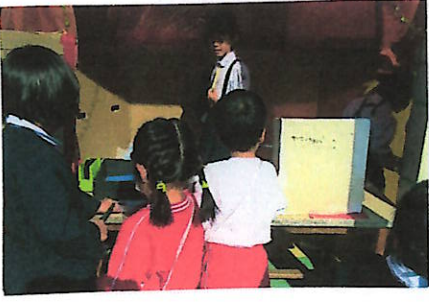
11/29の「おひさま広場」でも大盛況でした



11/30「みんなのまち 53丁目」終了

みんなで片付けをし、最後に使わせて頂いた場所をキレイに雑巾掛けしました。

- みんなのまち 53丁目 - 1      小かり銀行
- みんなのまち 53丁目 - 2      花屋 りぼん
- みんなのまち 53丁目 - 3      レジャー施設    スペシャルホール
- みんなのまち 53丁目 - 4      タクシー会社    3人組
- みんなのまち 53丁目 - 5      みんなのレストラン
- みんなのまち 53丁目 - 6      みんなのスーパー
- みんなのまち 53丁目 - 7      キラキラ郵便局
- みんなのまち 53丁目 - 8      建設会社    長野会社



- 自分たちの店・会社の片付けが終わると、率先して友だちの手伝いをする姿が多く見られた。
- 品物ごと箱詰めをする作業を手伝ってくれ、片付けが早く終わった。
- 保育者が机を運ぶ姿を見て「やってみよう!!」と申し出があった。最初は苦戦しながら一人で運んでいたが、コツを掴むとスムーズになった。「力があるから(何台でも)簡単に運べる!」と頼もしい発言も聞けた。「一緒に運ぶたい」という友だちに「運ぶコツをなどを丁寧に伝えようと、その後は声を掛け合いながら作業していた。
- 品物が片付きスッキリすると、ゴミが落ちていたことに気づいた子が「ホウキで掃きそうじ」を始めくれた。保育者が「雑巾掛けをして欲しい」と全員に伝えようと、どの子も積極的に関心してくれた。床を心で拭きし「こんなに汚れていたんだね」と、今までを振り返っている様な発言も聞かれた。
- 雑巾掛けを終え、サッパリ片付いた様を見て、どの子も清々しい表情、達成感に満ちた表情をしていた様に感じた。

## <まとめ>

### 10の姿 ①～⑩

9月に子どもたちの何気ない一言から始まり、その様子から「継続したい!!」「まだまだ子どもたちのアイデア、力を引き出せるはず!!」という思いから、11月の参観日につながった。

「まち」の見学を行ったり、全体・グループでの話し合いを行うことで子どもたちの想像が増した様にも思う。

実際の「まちづくり」は7日間と、例年以上に非常に短い期間であったが、子どもたちの「やりたい!!」「作りたい!!」を保育者でなく子ども自身自身が主体となって作り上げる事で、とても集中して食卓をこなく取り組んでいた様に思う。

(A.O)は、「まちづくり」が始まってからスーパーの商品をじっくり観察し「〇〇が売っている」「〇〇はどうやって作れば良いのかな?」と自分の「仕事」に活かせるか考え、普段注目することのなかった「自分のまち」を「ぼくの(住んでいる)まちも、良いまちだよわえ」としみじみ語っていたと、保護者からお話を聞くことが出来た。

「まちづくり」を通して子どもたちの中に色々な思いが芽生えたこと、嬉しく感じた。